

民間企業給与制度調査等業務公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年3月22日（金） 9時55分から11時05分まで
2	場 所	県庁北館 201 会議室
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総務局行政経営部長 ・総務局研究開発担当部長 ・総務局人事課長 ・総務局デジタル基盤整備課長 ・人事委員会事務局公務員課長
4	議 題	民間企業給与制度調査等業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	総務局人事課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>提案された企画提案書を基に、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>A社：デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 B社：EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社</p> <p>審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については次のとおり。</p> <p>（A社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施スケジュールが週単位で記載されており、大まかな WBS もある。 ・発注者からの情報提供、発注者とのコミュニケーションが鍵になるが、より適切な業務遂行が期待できる。 ・本調査のねらいをより理解し、それを踏まえた提案となっている。 ・給与制度設計能力があると見込まれる。 ・使用する情報ソースは主に公開データとされており、現場の実情の反映について深掘りしてもらいたい。 <p>（B社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視点も含めた人事制度全般にわたる指針等の策定に強みが認められる。 ・保有するデータや提案内容に、より専門性がある点が評価できる。 ・ビジョンの記載についての具体性が弱く、実施スケジュールにも懸念がある。 ・経費内訳に明確でない部分が多い。